

呉音 ごおん	5-6世紀に伝わった、揚子江の下流地域の南方音。朝鮮半島経由で伝わった。「対馬音」と呼ばれ、『古事記』『万葉集』で使われた。仏教用語が多い。										
	行者 ぎょうしゃ	行列 ぎょうれつ	修行 しゅぎょう	境内 けいだい	天女 てんにょ	怨霊 おんりょう	9 きゅう	色欲 しきよく	声明 しょうみょう	明日 みょうにち	東京 とうきょう
漢音 かんおん	7-9世紀ころ、隋や唐からの留学生、遣唐使の北方音。『日本書紀』で使われた。呉音はやわらかく聞こえて、漢音は角があるように聞こえる。										
	行動 こうどう	行程 こうてい	旅行 りょこう	内部 ないぶ	女性 じょせい	幽霊 ゆうれい	9 く	明月 めいげつ	黎明 れいめい	明暗 めいあん	京王線 けいおうせん
唐音 とうおん	宋、元、明などの時代に禅僧により伝わった音。禅宗関係が多い。日常生活に根付いているものの素直に読めないものが多い。唐宋音とも呼ばれる。										
	行脚 あんぎゃ	行燈 あんどん	行宮 あんぐう	和尚 おしょう	椅子 いす	箆笥 たんす	扇子 せんす	明樂 みんがく	明笛 みんてき	明朝 みんちよう	北京 ぺきん
	焼売 しゅうまい	饅頭 まんじゅう	西瓜 すいか	南京 なんきん	挨拶 あいさつ	暖簾 のれん	提灯 とうろう	納戸 なんど			

連濁	連濁=子音交替 後語の1文字目が濁音に変化。和語は連濁しやすい。漢語は稀で、外来語は極めて稀。前の語が鼻音や畳語も連濁しやすい。ガ行は鼻濁音化										
	手紙	色紙	川岸	長靴	夜空	戸棚	鼻血	台所	人々	円高	旅人
	日差し	三日月	巻きずし	三千年	ごみ箱	本棚	山桜	神々	火花	肩車	陰口
	(漢語系)	野菊	腰巾着	株式会社	夫婦喧嘩	山葵醤油	(外来語系) いろはがるた 雨がっぱ				
	ライマンの法則=非連濁規則 複合語の後部要素の第2拍目以降に濁音がある場合、連濁を嫌うという現象。ライマン：御雇外国人									ライマンの法則 例外	
	春風	手鏡	星屑	値札	合鍵	縄跳び	錦へび	オオトカゲ		なわ ばしご	
	連濁の例外 並列 漢語 複合語 外来語 名詞+動詞の目的語系					※連濁は同化の一種。有声音に挟まれた無声音が濁る現象。[yosora][yozora]					
	(並列系) 山川・目鼻・草木・後先・飲み食い (漢語系) 水鉄砲・輸入品・骨折り損 (複合語系) 噛み切る (外来語系) デジタルカメラ (目的語系) 草刈り：くさをかる パン切り：パンを切る										

転音	転音 = 母音交代 語が複合するとき前の語の後ろの1文字目の母音が交替する現象。変音現象の一つ。										
	雨傘	酒樽	酒屋	風上	木陰	気配	稲妻	舟唄	爪楊枝	白玉	白百合
	あまがさ	さかだる	さかや	かざかみ	こかげ	けはい	いなずま	ふなうた	つまようじ	しらたま	しらゆり
音韻添加	[s] が追加される			[i]が追加	音位転換	語内部で子音が入れ替わる現象					
	春雨	霧雨	真つ青	詩歌		新しい	あたらしい	秋葉原	あきはばら	舌鼓	したづつみ
	はるさめ	きりさめ	まっさお	しいか	あらた-しい		あき-ば-はら		した-つづみ		
音韻融合	前の語と後ろの語が融合				音韻脱落	音韻脱落とは複合語の音の一部がなくなる現象					
	狩人	若人	仲人	木瓜 胡瓜		裸足	はだし	河原	かわら		
	かりうど	わこうど	なこうど	きゅうり	はだかあし		かわはら				
半濁音化	h音がp音に変わる現象 /p/ を含む音「ぱ・ぴ・ぷ・ぺ・ぽ・ぴゃ・ぴゅ・ぴえ・ぴよ」の各音節の総称である。丸状の記号「°」は、半濁点と呼ばれる。										
	審判	折半	突発	一方	絶品	湿布	音符	執筆	あけっぴろげ	ぶっばなす	おっばじめる
	しんばん	せっばん	とっぱつ	いっぼう	ぜびん	しっぶ	おんぷ	しっぴつ	あけ+ひろげ	ぶち+はなす	お+はじめる
連声	変音現象の一つ。前の語の末尾の m/n/t が、後の語の先頭のア・ヤ・ワ行と接続して 末尾の子音を繰り返し マ・ナ・タ行 の音に変化させる。										
	因縁	銀杏	反応	親王	観音	三位	陰陽	雪隠	仏恩		
	いんねん	ぎんなん	はんのう	しんのう	かんのん	さんみ	おんみょう	せっちん	ぶっとん		
熟字訓	1文字ずつ単語を読むのではなく、2語以上の漢字からなる熟字を塊として訓読する。「付表の語」明日 = 「ミョウニチ」音読み「あした/あす」 = 熟字訓										
	紅葉	硫黄	叔母	白髪	素人	土産	浴衣	眼鏡	部屋	息子	時雨
	もみじ	いおう	おば	しらが	しろうと	みやげ	ゆかた	めがね	へや	むすこ	しぐれ
慣用音	声符である旁から勝手に類推して読んだ音で、間違っ定着したものや発音しやすく言い換えられたものを指す。日本独自の読み方。										
	消耗	枯渴	輸入	攪拌	設立	情緒					
	しょうもう	こかつ	ゆにゅう	かくはん	せつりつ	じょうちょ					

重箱	音読み+訓読み 熟語は音読み同士・訓読み同士を組み合わせる。その例外としての変則的な読み方。										89種		
	献立	天井	雑煮	団子	職場	仕事	判子	曜日	地元	縁組	駅前		
	番組	台所	王様	素直	本屋	絵筆	額縁	金歯	残高	毎年	札束		
	軍手	碁石	試合	福袋	蜜蜂	役所	両替	味方	馬鹿	座敷	両手		
湯桶	訓読み+音読み □中国発音=字音・音読み 片仮名 □日本に置き換えられた発音 字訓・訓読み ひらがな										137種		
	甘茶	焼肉	豚肉	鶏肉	友達	彼氏	夕飯	夕刊	株式	株券	横丁		
	場所	家賃	敷金	野宿	影絵	見本	手本	手順	雨具	高台	姉貴		
	荷物	相性	消印	小判	泥棒	梅酒	眠気	熱爛	長年	切符	場面		
音読み	台	駅	肉	達	雑	曜	本	茶	絵	仕	所		
イキクチツウン	だい	えき	にく	たち	ざつ	よう	ほん	ちゃ	え/かい	し	しょ		
訓読み	井	子	事	日	手	彼	夕	株	年	所	場		
	どん	こ・し	こと	ひ	て	かれ	ゆう	かぶ	とし	ところ	ば		
和語	ひらがなで表記するか、訓読みになることが和語。連濁しやすい。 イ形容詞が多い。ナ形容詞はわずか。具体的で、意味範囲は広い												
	手紙	友達	花火	歩く	静かな	好きな	嫌いな	おやつ	山・川・海・空・星・雲・木・花・鳥・虫・魚				
漢語	漢字で表記して、訓読みではなく音読みすることが漢語。言い方が固くなる。抽象的な表現が出来るが、意味範囲が狭い。 漢語+漢語												
	間食	住所	友人	筋肉	自然	縁談	愛情	清酒	環境	雷雨	食物	猛暑	雷雨
混種語	外来語=カタカナ語 バス・カメラ 単純語「雨」「花」「山」 合成語=複合語/派生語												
	「読書する」 読書は漢語、するは和語				「送付先」 送付は漢語、先は和語			「駅前ビル」 駅は漢語、前は和語、ビルは外来語					
	「カメラ小僧」 カメラは外来語、小は和語、僧は漢語						「輪ゴム」 輪は和語、ゴムは外来語		「窓ガラス」 窓は和語、ガラスは外来語				
「大型観光バス」 大型は和語、観光は漢語、バスは外来語						折れ線グラフ 折れは和語、線は漢語、グラフは外来語							

同音連呼	改定現代仮名遣い(1986) 原則「じ・ず」を使用するが「ぢ・づ」を使用可能な場合の条件の一つが「同音連呼」					同音連呼の例外
	ちぢむ 縮む	ちぢれる 縮れる	ちぢこまる 縮こまる			いちじく
	つづみ 鼓	つづら 葛籠	つづく 続く	つづる 綴る		いちじるしい
二語連合	改定現代仮名遣い(1986) 原則「じ・ず」を使用するが「ぢ・づ」を使用可能な場合の条件の一つが「二語の連合」					
	はなぢ	そこぢから	いれぢえ	まぢか	ちりぢり	みかづき
	たけづつ	たづな	にいづま	ひづめ	てづくり	つくづく
	おこづかい	わしづかみ	うらづける	ゆきづまる	ねばりづよい	つねづね
	二語連合 例外	せかいじゅう	いなずま	かたず	きずな	さかずき
	ほおずき	つまずく	ひざまずく	うでずく	ゆうずう	じしん
オ列仮名	改定現代仮名遣い(1986) 習慣による特例にて オ列の仮名に「お」を添えて書く。 原則はオ列の仮名に「う」を添える。 おとうさん					
	おおかみ	ほお	とおる	おおい	こおる	こおり
	おおせ	とおい	ほのお	おおう	おおむね	おおよそ
	こおろぎ	おおやけ	もよおす	ほおずき	いきどおる	
転訛	転訛形とは、本来の音がなまって変化した形。=縮約形ともいわれる					
	やめとく (やめておく) してるの (しているの) 帰らなきや (帰らなければ) しちゃう (してしまう) くっせい (臭い)					
	行かなきや (行かなければ) やっちゃいなよ (やっちゃいなよ) : 動詞+動詞の複合動詞で転訛で短くなる					
	すっごく (すごく) とっても (とても) やっぱり (やはり) : 促音を入れて強調した転訛形で長くなる					
わかんない (わからない) ぼくんち (ぼくのうち) 遊んだもんだ (あそんだものだ) 取っとく (取っておく) じゃあ (では)						

異字同訓	異なる漢字で意味の近い語が、訓で読むと同じになるもの。 同訓異字				拍	拍が短くなるケース		
	謝る-誤る 切る-着る 表す-現す 怒る-起こる					ヨーロッパ [ヨロパ] シーフード [シフト]		
	収める-納める 取る-撮る 暑い-厚い-熱い					こんにちは [こにちは] レポート [レポト]		
	遭う-会う-合う 歌-唄-詩 上がる-拳がる-揚げる					84円切手 [はちじゅよえ きて] 先生 [せんせ]		
同音異義 (同音語)	意外-以外 早い-速い 意志-意思 回答-解答					メール [メル] あさって [あさて]		
	解放-開放 体制-態勢 機械-機会 必死-必至					取って [とて] ページ [ペジ] 切符 [きぷ]		
類義語	部分的には同じ意味を持っているが、それぞれに異なる意味も持っている語彙。広義には同義語も含む。							
	昨日ときのう	家と住居	きれいと美しい	上がると登る	遊戯とゲーム 時刻と時間			
	ホテルと旅館	安全と無事	天気と天候	経験と体験	話すと語る			
同義語	類義語関係の中で指し示す対象の範囲がほぼ同じものを同義語と呼ぶ。使用される文体レベルが異なる。全く同義語と言うのは非常に限られる。							
	本と書物 病気とやまい 塩と塩化ナトリウム 登山と山登り ごはんとライス 便所とお手洗い							
対義語	反義語ともいう。 品詞が変わる例 元気な(ナ形容詞)-病気の(名詞) 綺麗な(ナ形容詞)-汚い(イ形容詞) 若い(イ形容詞)-老いた(動詞+助動詞「た」)							
	相補的	裏/表 生/死 北半球/南半球		両極的	入学/卒業 北極/南極	相手対義	親/子 先生/生徒 医者/患者	
	連続的	長い/短い 広い/狭い (イ形容詞)		視点的	右/左 売る/買う	開いた対義	和室/洋室 原則/例外 兔/亀	
多義語	基本義から拡張した、様々な意味が多義となる。 単義語 ：科学技術、固有名詞など「結核」「直線」意味を1つしか持たない。							
	甘い	甘さ、甘い歌声、甘い採点			重い	責任が重い 気分が重い		
	壁	壁にぶつかる 壁を乗り越える			頭	頭が固い 頭に入らない		
	走る	痛みが走る、衝撃が走る			切る	カードを切る 縁を切る		

外来語 英語90% 片仮名 借用語 和製英語	ポルトガル語	中世末期、キリスト教の宣教師によって伝えられた言葉が多い。	
		パン タバコ カッパ かるた ボタン ブランコ ジュバン (襦袢)	
	オランダ語	江戸時代に伝わった言葉が多い。	
		ビール コーヒー ランドセル ラッパ ゴム ペンキ ランプ ガラス コップ	
	フランス語	近代に伝わった言葉で、芸術、服飾、料理関係の言葉が多い。	
		アトリエ シャンパン コンソメ マヨネーズ コロッケ グラタン オムレツ	
	ドイツ語	近代に伝わった言葉で、医学、哲学関係の言葉が多い。	
		ガーゼ カプセル カルテ ノイローゼ ワクチン ゼミナール	
イタリア語	近代に伝わった言葉で、音楽関係の言葉が多い。	和製外来語 サラリーマン	
	オペラ クラリネット ソナタ	ナイター/マイカー/オートバイ/ワイシャツ/レンジ	

音素	音素は同じ音として他と区別される、同じ役割機能を持つ、音声の集合体。				異音は抽象的な音素が具現化したもの						
	音素	/g/	異音	[g][ŋ][ɣ]	音素	/s/	異音	[s][θ][ç]			
形態素	意味を担う、最小の単位。形態素が音形を伴って現れたものを、異形態と呼ぶ。										
	形態素	酒 {sake} の	異形態	甘酒[ama-zake]	酒屋[saka-ya]	居酒屋 [i-zaka-ya]					
	形態素	桜 {sakura} の	異形態	桜 [sakura]	山桜 [yaama-zakura]						
	形態素	傘 {kasa} の	異形態	傘 [kasa]	雨傘 [ama-gasa]						
助数詞	直前が/Q/促音の場合/p/ が現れる。直前が/N/撥音の場合/b/が現れる。直前が和語の場合/h/が現れることが多い。不規則										
	匹	いっぴき	PIKI	にひき	HIKI	さんびき	BIKI	発	いっぱつ	にはつ	さんぱつ
	本	いっぽん	PON	にほん	HON	さんぼん	BON	分	いっぶん	にぶん	さんぶん
	枚	いちまい	MAI	にまい	MAI	さんまい	MAI	班	いっばん	にはん	さんばん
	番	いちばん	BAN	にばん	BAN	さんばん	BAN	品	ひとしな	ふたしな	みしな

一字漢字動詞		辞書形	ナイ形	マス形	テ形	夕形	バ系	意向形	命令形	その他の1字漢字+する	
										5段動詞	サ変
愛	五段動詞	愛す	愛さない	愛します	愛して	愛した	愛せば	愛そう	愛せ	反す	反する
	サ変動詞	愛する	愛そう				愛すれば		愛せよ	辞す	辞する
略	五段動詞	略す	略さない	略します	略して	略した	略せば	略そう	略せ	訳す	訳する
	サ変動詞	略する	略そう				略すれば		略せよ	熱す	熱する
適	五段動詞	適す	適さない	適します	適して	適した	適せば	適そう	適せ	画す	画する
	サ変動詞	適する	渡そう				適すれば		通せよ	帰す	帰する
基本	サ変	する	しない	します	して	した	すれば	しよう	しろ	解す	解する
信	上一段	信じる	信じない	信じます	信じて	信じた	信じれば	信じよう	信じよ	期す	期する
	サ変動詞	信ずる	信じよう				信ずれば			サ変の五段活用化が進んでいる	
案	上一段	案じる	案じない	案じます	案じて	案じた	案じれば	案じよう	案じよ		
	サ変動詞	案ずる	案じよう				案ずれば				
感	上一段	感じる	感じない	感じます	感じて	感じた	感じれば	感じよう	感じろ		
	サ変動詞	感ずる	感じよう				感ずれば				
論	上一段	論じる	論じない	論じます	論じて	論じた	論じれば	論じよう	論じろ		
	サ変動詞	論ずる	論じよう				論ずれば				
和製漢字	中国から伝来した漢字ではなく、日本で作られた漢字体の文字を指し、国字、和字、倭字、皇朝造字などとも呼ばれる										
	返事	出張	新聞	文化	思想	法律	科学	物理	時間	美術	
	資本	自由	革命	共産主義	見物	火事	心配	働	峠	禊	
ガ行鼻濁音	ガ行子音音素/g/における鼻濁音の異音である有声軟口蓋鼻音[ŋ]「カ° キ° ク° ケ° コ°」 高齢者/放送局では使い分け=条件異音 若者の間では減少中。										
鼻濁音	介護士	大学生	銀河	十五夜	七五三	大会社	小学校	オルガン	母さんが入学式に来た。		
	語中のŋ	語中のŋ	語尾のŋ	数字意味減少 普通名詞化		連濁	結束大 1語的	古い外来語	語中の助詞の[ŋ]		
ガ行破裂音 非鼻濁音	銀座	技術者	画廊	五	五十五分	経済学部	高等学校	セネガル	お元気	がらがら	げらげら
	語頭のg	語頭のg	語頭のg	数詞の5		結束小 2語的		外来語	敬語接頭辞後	擬音語	擬声語

転成名詞	別の品詞から名詞になった語を転成名詞		表語文字	語を表す文字：漢字 意味と音がある。 一見して意味が分かる 人 people 猫 cat 幸 happy それだけで使える
	①動詞の連用形が名詞になったもの 連用形＝マス形 流れる→ 流れ 、話す→ 話 、蹴る→ 蹴り 仕事の 帰り 暮らす→ 暮らし 物を語る→ 物語 遊ぶ→ 遊び 光る→ 光 帯びる→ 帯			表音文字
	かばんを持つ→ かばん持ち 人を表す する動詞化 所帯を持つ→ 所帯持ち 勉強+する	音素文字	音素を表す文字：ローマ字 表音素文字 [neko] 日本式ローマ字は音素と文字が一对で対応する。	
	力を持つ→ 力持ち 勉強する：広義の転成		音節文字	音節を表す文字：平仮名/片仮名 ハングル [ねこ] 平仮名は万葉文字草書体から、片仮名は万葉仮名を簡素化した
	②形容詞の連用形が名詞になったもの ※語形に変化なしタイプ 近い→ 近く 早い→ 早く 近くの店 多くを語らず 遠い→ 遠く 多い→ 多く 朝早くから遅くまで			表意文字
	③イ形やナ形語幹に「さ/み/け」 寒い-寒さ-寒がる などの接尾辞がついて名詞になったもの ※接尾辞の着脱で変化 痛さ 親切さ 辛み 寒け 苦み		日本の漢字は表語文字と言われる。表音文字よりはるかに多い。 日本語では機能語は主に平仮名で表記される。	
単純語	海 歌 機械 勉強 テーブル			
合成語	■複合語	二つ以上の単語が結合してできた語。 後部要素によって品詞が決定。 酒菜＝さかな 浜栗＝はまぐり すでに複合語と認識の薄れた語もある。		
	複合名詞	花-火 酒-飲み 里-帰り 書き-物 だて-眼鏡 夏-休み 【並列構造】 類義関係：道路 海洋 河川 学習 対義関係 ：天地 往復 裏表 男女 【修飾構造】 麦畑[連濁する]草笛[連濁する] 並列関係は連濁しない 田畑[連濁しない] 草木[連濁しない] 尾鰭＝「おひれ」「おびれ」		
	複合動詞	語彙的複合動詞：それぞれが本来の意味を残したまま結合する。 飛び出す 持ち込む かみ切る 打ち上げる 押し出す		修飾構造：格関係 日暮れ(ガ格) 金持ち(ヲ格) 鉄板焼き(デ格) 修飾非修飾：立ち食い 取り除く(動-動) 早起き 長生き(形-動)
		統語的複合動詞：本来の意味を無くし文法的意味を付加する 降りだす 考えこむ 逃げきる 書きあげる 笑いだす		連体修飾：空き缶 買い物 落ち葉(動-名) 新車 近道 長雨(形-名) 本箱 夜桜 山道(名-名)
		【格関係】 前項動詞と同じ格関係 「～が～を見る」「～が～を届ける」「～が～を見届ける」 他動+他動 前項動詞と違う格関係 「～が～を打つ」「～が上がる」「～が打ち上がる」 他動+自働		
	【自他関係】 自動詞+自動詞＝自動詞 死ぬ+絶える＝死に絶える 他動詞+他動詞＝他動詞 切る+倒す＝切り倒す 自動詞+他動詞＝他動詞 泣く+晴らす＝泣き腫らす			
	複合形容詞	腹-黒い 毛-深い 口-汚い		□アクセントの統語機能 降る(HL) 出す(HL) 降りだす(LHHL)
	複合助詞	「にあたって」「からには」「までに」		切る(HL) +倒す(LHL) =切り倒す(LHHHL)
■派生語	語彙的な意味を持つ形態素と文法的な意味を持つ形態素(接辞)からなる語。 お茶 長さ 子どもっぽい 国際的 会議室 うどん屋			
■豊語	語彙的な意味を持つ形態素の反復によって構成される語。 複合名詞 ：国々神々 複合副詞 ：生き生き(動) 時々 常々(名) 早々 黒々(形)			

漢字の歴史	甲骨文字 殷	金文 青銅器	篆書 秦	隸書 前漢後漢	楷書 現代	六書	後漢の許慎『説文甲解字』により漢字を6分類した。 日本語教育では形声の性質を利用することが多い。
造字法	象形	物の形をかたどった方法 日・月・川・人・馬・牛・山・木・目・耳・口・手			簡字体	中国本土・シンガポール	繁字体 台湾・香港 新字体 日本＝通用字体と呼ばれている。
	指示	抽象的概念を線や点で表し、象形文字に点や線を入れる 一・二・三・上・下・中 本・末			象形文字	ヒエログリフ：古代エジプト	
	会意	意味のある要素を組み合わせて表す。 林・森・明・休			表語文字	漢字は意味と音を表す1つの語である。	
	形声	意味を表す部分と音を表す部分を組み合わせて表す 銅・語・景・障・園・週 意符と音符の組み合わせ			篆書 てんしょ	現在パスポートに使われている	
用字法	転注	本来の意味から派生した意味で使ったもの 楽 基は音楽の意味が楽しいに転じた。			国字	会意が多い。峠 雫 騷 和製漢字で音読みが無い	
	仮借	字の意味を捨て、音のみを借りて表記した 我 元はのこぎりの意味を同音で自称詞に利用 云 元は雲から、音の重なりで話すに利用 豆 元は高足の食器から音だけ利用			形声	造語力が強いので、『説文解字』の80%は形声文字	